

部長会議 報告書

令和元年 5 月 28 日(火)

3 階第 2 会議室 9:15~10:20

1. 議題・課題等提案

(1) 総務部

⇒ 資料にもとづいて説明 (総務部長)

I. 新しいフェーズを迎える新年度予算編成の実現について

- ・一般財源を前年度同額とするのは、いつ以来のことか。これまでは、シーリングありきの予算編成であった。(市長)
→ 不断の改革と組み立ては引き続き必要ではあるが、厳しい財政状況から新しいフェーズへつなげる予算として、職員は前向きに取り組んでいただきたいと思う。行財政改革というとネガティブなイメージがあるが、頑張った部分は形がみえるような予算編成をしたい。職員のマインドを変えていきたいと考えている。(総務部長)
→ 職員には、そのマインドが伝わるよう取り組みを進めていただきたい。(水谷副市長)
- ・来年度予算の考え方については、決算を見ての判断も必要である。(平野副市長)

II. 選挙事務の適切な管理執行について

- ・業務委託の検討について、具体的にどのようなことが考えられるのか？(水谷副市長)
→ 投票所自体の運営を業務委託するなど検討する余地はある。現在は、人材派遣として人だけの対応であるので、職員の選挙への関わり方を見直す機会にできればと考える。
(総務部長)
- ・今後、具体的に進められそうな取組みは？(平野副市長)
→ 共通投票所、期日前投票所の場所を増やすことは検討可能であると考えている。ただし、(選挙人名簿照合端末の) ネット環境の整備や、投票所の設置場所も考えなければならない。人が集まる場所で、何かのついでに投票してもらおうという工夫が大事である。(総務部長)
- ・「移動式投票所」の事例はあるのか？また、どのようなものなのか？(市長)
→ 過疎地等で事例があり、時間を区切りに投票できるといったもの。ただし、期日前投票に限定される。投票日当日については、投票時間の関係もあり実現は難しいと思われる。形態としては、検診車バスのようなもので、入口から乗車し、車中で投票、出口から降車するといった流れである。
投票所が身近にあっても、そこまで行けない人もいる。今後は、もっと踏み込んだ方策を検討していく必要がある。(総務部長)
→ 近くに投票場所を設ける等の投票しやすい環境を整えることが大事である。(市長)

2. その他

(1) 寄付の新たな取組について (総務部)

⇒ 資料にもとづいて説明 (総務部長)

- ・教育では物品の寄附が多く、金額で示すことができないが、その場合の「見える化」予算 (インセンティブ) の考え方はどうなるのか? (教育部長)

→金額換算が難しい場合であっても、アイデアを評価できる仕組みにはしたい。各所管でチャレンジしていただきたいと思う。財政課でも相談に応じる。(総務部長)

(2) 消費税率の引き上げに伴う公の施設の使用料の改定について (総務部)

⇒ 資料にもとづいて説明 (総務部長)

(3) 桑名駅周辺整備事業全体スケジュールについて (産業振興部)

⇒ 資料にもとづいて説明 (産業振興部長)

(その他)

①参議院議員選挙について

- ・現在の想定で、7月21日を投票日とした場合は、期日前投票は7月5日から20日までの予定となる。投票管理者については、今回から、各部の管理職の応援をお願いする予定であるので、ご協力いただきたい。※のべ48名(16日間×3カ所)各部4日間程度。

(総務部長)

②水防訓練への参加について (御礼)

- ・去る5月26日に実施した水防訓練に、ご参加をいただき御礼申し上げます。来年度は、広域的な訓練を実施する予定であるので、またご協力をお願いしたい。(都市整備部長)